

## 漁具資材の変遷と最近の動向

ニチモウ株式会社  
海洋営業部 桜井 広光

漁網を用いた漁業にはさまざまなものがありますが、現在行われている主な漁業として「まき網漁業」を中心にその特徴や要素を海外との比較を含めてご紹介します。

### 漁網を用いた漁法

まき網、曳き網、定置網、刺し網、養殖網など漁具として主に網を使用する漁業について、その種類や歴史を紹介します。



### 漁網の素材

戦前の天然繊維から戦後の合成繊維へと変わり、近年ではスーパー繊維と呼ばれる超高強力糸まで登場した漁網の材料として使われる一般的な素材を紹介し、選ばれる理由とその特性に触れます。

### 漁網の種類

有結節網と無結節網に大きく2つに分別される漁網の種類をその構造と特徴、採用される漁法とその理由を合わせて紹介します。

### まき網漁具



漁網を用いた漁業の中から最も多くの網地を使用する「まき網漁業」をその漁獲対象魚の種類に合わせて3種類紹介します。操業海域や操業隻数、漁網の大きさや網目のサイズ、使用される素材や色までさまざまです。

## **まき網の要素**

浮力、沈力、網種、網深さ、網成りなどのまき網漁具の性能を左右する要素について漁網製造会社ならではの「まめ知識」を踏まえて紹介します。また、最近の傾向として 3 つの傾向を挙げます。

## **日本と海外**

まき網漁具(海まき)について日本と海外の違いを、素材やその作り方からそれぞれの利点と弱点を踏まえながら考えます。